

平成27年度第4回半田市図書館協議会議事録

開催日時	平成28年2月10日（水）	13時15分～ 14時20分
開催場所	図書館第3会議室	
会議次第	【議題】 (1) 子ども読書活動推進計画の改訂について（パブリックコメントの結果、答申） (2) 魅力ある図書館づくりについて（答申） (3) 平成27年度図書館利用状況等について (4) その他	
出席委員：6名 (欠席委員：4名)	(委員) 前田佳男、本美信一、新海伸誓、山本幸夫、 渥美隆、山田雅子 (畑野園江、鈴木仁美、榎本悦子、藤村敏子) ※敬称略	
事務局	図書館長 間瀬直人、亀崎図書館長 榊原雅子 副主幹 石川稔、戸田豊志、田村元成 書記 水野理絵	
その他出席職員	教育長 加来 正晴、教育部長 小坂和正	
次 第	議 事 概 要	
事務局	<p>ただいまより、平成27年度第4回図書館協議会を開催します。本日は、10名中4名の方が欠席となっておりますが、過半数を満たしておりますので会は成立しております。</p> <p>最初に、教育長よりご挨拶申し上げます。</p>	
【あいさつ】	<p>(教育長) 委員の皆様には、お忙しい中ご出席ありがとうございます。今年ほど、図書館が話題になった年は、かつてなかったのではないのでしょうか。テレビで話題の芸能人が芥川賞を受賞したり、少年Aが書いた「絶歌」の図書館での扱いが問題になりました。</p> <p>また、読書の大切さについては、言うまでもありませんが、「全国学力学習状況調査」によると半田市は、「読書が好き」と答えた子どもの割合が、全国や県の平均を上回っており、この結果は、みなさんの努力の</p>	

	<p>おかげであると思っています。</p> <p>本日は、子ども読書活動推進計画の後期に向けての考え方や魅力ある図書館づくりに対する答申について忌憚のないご意見をお願いいたします。</p>
事務局	<p>ただいまから議事に入ります。</p> <p>会議の進行を、前田会長をお願いいたします。</p>
<p>【議題】(1)</p> <p>子ども読書活動推進計画の改訂について(パブリックコメントの結果、答申)</p>	<p>(会長) 議題に沿って進めていきたいと思えます。まず、同計画のパブリックコメントの結果について事務局から説明をお願いします。</p> <p>(事務局) その前に、子ども読書活動推進計画で前回の協議会の後に修正を行った点についてご説明させていただきます。資料をご覧ください。【以下、「半田市子ども読書活動推進計画」(後期)の冊子を参照】</p> <p>(会長) 計画について、大きな修正はないようすがなにかご意見はありませんか。</p> <p>(部長) 同計画について、市の幹部会、市議会への報告を経て4月1日から正式にスタートとなります。</p> <p>(会長) 答申案について、ご異議はありませんか。異議がなければ協議会の答申とします。</p>
<p>【議題】(2)</p> <p>魅力ある図書館作りについて(答申)</p>	<p>(会長) 次に、魅力ある図書館づくりについてです。前回までに、検討していただいた答申内容と大きくは変わっていません。ただし「今後の図書館運営について」の項目は、検討の結果、次の一文を入れさせていただきました。「専門職、司書の退職等の新陳代謝を見据え、民間手法による運営の導入も検討していく必要がある。なお、指定管理者制度の導入を検討する際には、図書館としての役割は何か、これからどのような図書館にしていくべきかを市民を交えて充分議論する必要がある。」</p> <p>これは、将来にわたって常に専門職(司書)の採用が確約されているわけではない、ということから入れたものであり、仮に指定管理の導入を検討する場合も、一方的に行うものではないということです。</p> <p>このことで何かご意見が、あればお願いします。</p> <p>(委員) 前回の会議までは、指定管理者制度を検討す</p>

	<p>るということは、出ていなかったと思いますが、なぜこのように、なったのでしょうか。</p> <p>また、「退職等の新陳代謝を見据え、民間手法による運営の導入も検討…」というのは、人件費などの問題で採用ができないということなののでしょうか。長期に渡って勤務する専門職の役割は、大切であるということも前回お話ししたはずですが、なぜ、大卒で司書資格のある学生を採用しないのですか。司書の役割を軽視しているように思えます。</p> <p>(会長) 今後も専門職が常に採用できるか、という点に不安があったのでこの一文を入れさせてもらいました。</p> <p>(館長) 前回までの答申案では、未来永劫直営でいくというような文面でしたが、急速に変化していく図書館を見据えて、あえて可能性として指定管理という文言を入れさせていただきました。当面の間は、直営での運営が決まっていますし、指定管理の方向へ向かっているということではありません。</p> <p>(委員) それならば、安心しました。</p> <p>(会長) どういう図書館が理想かを市民といっしょに考えていくことが大切であると思います。</p> <p>特に異議がなければ、正式な答申としたいと思います。</p>
<p>議題 (3) 平成27年度図書館利用状況等について</p>	<p>(事務局) 今年度の利用状況と活動実績を報告します。【以下、説明資料を参照】</p> <p>(委員) 亀崎の図書館は、利用が多いですね。先日読み聞かせで伺ったときも、たくさんの子もたちで賑わっていました。</p> <p>(教育長) 入館者数も登録者数も増えているが、貸出冊数は減少しているのですね。</p> <p>(館長) 図書館行事の影響で入館者は、増えていると思いますが、来館しても本を借りない方がいるためかもしれません。</p> <p>(委員) 博物館や他の施設との共同の事業を行っていますか。</p>

(館長) 雁宿ホールでの「世阿弥」の公演に合わせて関連図書コーナーを設けました。

(事務局) 「図書館探検ツアー」や「ナイトライブラリー」などの行事も博物館と共催で行ったことで好評でした。

(部長) いろいろな事業をするには、予算が必要になります。実績を重ねてそれが必要だということを市へ訴えていかなければいけない。指定管理の問題も同じで、コストだけではないということをこれから示していく必要があります。

(教育長) 27年度の実績に巡回文庫が載っていないようですが。

(事務局) 巡回文庫の実績は、本日の資料には掲載していませんが、年度末にまとめる図書館概要には入れる予定です。

(館長) 昨日、児童センターの館長会に出席し、28年度から児童センターでも巡回文庫を行ってもらうことになりました。

(教育長) 学校での巡回文庫やブックトークなどの状況はどうですか。

(委員) 低学年から高学年まで活用しており、ありがたいです。今後も続けて行ってほしい活動です。

(会長) 最後の協議会ですので、おひとりずつご意見をお願いいたします。

(委員) クラシティにブックポストがあるのを知りました。本庁舎にも設置されると本の回収が大変ですね。

(館長) 回収はシルバー人材センターに委託しています。

(委員) ある論文によると、10～20年後には37パーセントの仕事が機械により自動化されるそうです。半田市立図書館のサービスとして、これは残したい、あるいは新しいサービスを考えていく、という強い信念がないとそういう波に飲み込まれてしまうのではないのでしょうか。

(委員)先日、板山ふれあいセンターに行きましたら、本を読んでいる子どもたちがいました。子どもだけでの図書館への来館は困難なので、色々な場所に本を配置するのは、大変よいことだと思います。

(委員)すべての公民館に、貸出文庫を設置する予定はありませんか。

(館長)要望があれば行いますが、それぞれの館の事情もあり一律に行うことは難しいです。

(委員)新海委員からのお話しにあったように、これからは社会も図書館もどんどん変わっていくと思いますが、図書館だけは人の温かみを感じられる施設であってほしいと思います。

(会長)他に意見がないようでしたらこれで、会議を終了します。ありがとうございました。

(事務局)これもちまして、平成27年度第4回半田市図書館協議会を閉会いたします。